千代館報

第２８９号

発行
千代公民館
編集
広報委員会
印刷
有限会社飯田写真印刷

＜千代の人口＞
平成28年10月末日現在
男　826名（－４）
女　901名（－４）
合計 1,727名（－８）

千代地区文化祭

十一月十三日（日）千代地区文化祭が千代小学校体育館に於いて盛大に開催された。残念ながら雨で中止となった先月の市民運動会とは打って変って晴天に恵まれ多くの皆さんが来場した。

展示物は保育園児から年配の方々まで幅広く寄せられ体育館を華やかに彩った。ステージ前ではニュースポーツのスポーツ吹矢やストラックアウト、けん玉、凧つくりと参加型のものが多く、体験の合間には本格コーヒーを楽しめるカフェも併設されとても楽しめる文化祭となっていた。

屋外のテント広場では五平餅、フランクフルト、焼き鳥の人気メニューに加えこの時期には欠かせない豚汁、おでんに行列が出来ていた。よこね米や千代ネギ、はちみつの販売や新成人による綿菓子も祭りの雰囲気を盛り上げていた。

今年は上久堅公民館の橋爪館長始め広報委員の方々も来場され、両地域の絆を一層深めたいと述べられた。

午後の芸能発表会では歌やオカリナ演奏、舞踊、人形劇、詩吟等九団体による熱演が披露された。日頃の熱心な練習の成果を見事に演じた。来場者数は三百名を超えた。参加された一人ひとりが来年を待ち遠しく感じる文化祭になったようである。

よこね田んぼ 案山子コンテスト 結果発表!!

最優秀賞「杜の収穫祭」
下瀬ふるさと村様
優秀賞「一休み」
米川公民館様
アイデア賞「真田丸」
大郡公民館様
案山子総数　十四体
投票数：六百四十七
寄せられた感想（抜粋）
・毎年見に来ています
・こんな素敵な田んぼは見たことがない
・案山子コンテストは是非続けてほしいです

よこね田んぼ 大収穫祭

十月二日（日）真夏の様な日差しの中午前九時よりよこね田んぼの稲刈りが行われた。参加者は地区外より四十余名、総勢百三十名だった。

冒頭川手重光まちづくり委員長の挨拶、渕田隆産業建設部長の注意説明により始まった。秋の長雨の影響で沼田に足を捕られ苦戦した神戸の中学生は、「稲刈りは辛どい。」と言っていた。千葉の若者は、「子供の頃から来ている千代は自分の故郷そのものだ。」と、手際良く刈り取っていた。多くの人達が刈る作業は難無く出来るが、結束はベテランの方々頼みだった。「稲束をわらで固く縛る事やはざ掛けのやり方など確かな技術の伝承も考えて行く必要がある。」と、農業委員の林祐子さんは言う。一時間半で作業も終わり記念撮影をした。いい汗をかいた人達の笑顔は輝いていた。

続いて会場を千代自治振興センターに移し、収穫祭が行われた。まちづくりの女性委員の方々によるおはぎ、千代ねぎ、千代福豚を使った豚汁、モツ焼き、くるみの会の五平餅等が振舞われ大好評だった。名古屋から参加の女性は、「地区内でこの様なイベントが出来て良い所だと思う。」また、伊賀良、島井千代さん（八十五才）は、「自分と同じ名のこの地の人柄に惹かれて毎年来ています。」と、そんな話を聞く事が出来た。

かぜさやか、もちひかり地区内外の人々との交流と多くのものが収穫出来た祭りだった。

千代峠交流会

十月二十二日（土）十五回目となる南信濃木沢地区との交流会が行われた。今年は汗ばむほどの気温で、まだ紅葉も少し遅れていて短い秋を満喫するにふさわしい天候に恵まれた一日となった。参加人数は木沢地区で十五名、うち女性が四名。千代地区からは二十名、うち女性一名で今年も楽しく交流ができた。千代峠ではお昼に木沢の人達によって遠山ジンギスの振る舞いがあった。千代側に向けての下山、途中に丸太橋を渡る場所が何ヶ所かあり大変だったが無事に唐沢の滝まで来ることができた。交流会は千代公民館調理室で行われ、佐藤副市長も参加され、楽しく交流ができた。来年は木沢側へ行く年になるが、この交流が長く続いていくことの大切さを感じた。

音楽と落語の宅急便

十月十五日（土）濱野志隆（はまのしりゅう）さんの公演が行われた。

千代地区まちづくり委員会では昨年から「健康で生涯現役」に向けて活動している。落語を聞いて笑う事と大きな声で歌い元気になろうと言う濱野さんの活動が合致した。

濱野さんは落語を聞きたいが遠くの会場へ行けない人へ笑いを届ける、正に笑いの宅急便である。また、落語だけではなく、ギターを弾きながら童謡や昭和歌謡を会場の人と一緒に歌う。落語の時は着流し姿。外見でも楽しませてくれた。

参加した下村の清水八重さんは「楽しかったし元気になれた。もっと、何回でもやってほしい」と笑顔で話した。

しゃくなげの郷 五周年記念事業を開催

所長　村澤博治

平成二十三年四月に営業開始した飯田市千代デイサービスセンター「しゃくなげの郷」は、地域の皆様からご支援いただき、在宅福祉の拠点として活用されています。

現在の登録者数は六十名で千代地区の方が中心に利用しています。

昨年の秋の「しゃくなげの会」十周年記念事業に続き、今年度はデイサービスセンターの五周年事業を九月二十五日（日）に開催しました。

利用者や地域の皆様に感謝の気持ちを込めて記念事業を行いました。

今回は、五年間の歩みと報告、飯田市長寿支援課山岸係長の講演「飯田市の介護予防・日常生活支援総合事業概要」、アトラクションでは、千代保育園児による太鼓演奏、川路包括支援センター職員による悪徳商法防止の寸劇、家族の方による踊りで盛り上がりました。

昼食会ではきのこ汁や五平餅を食べて、楽しい記念事業が出来ました。

千代高齢者クラブ連絡協議会 マレットゴルフ大会開催

千代高齢者クラブ（会長西尾喜好）は、十月十八日千代マレットゴルフ場に於いて、年一回の大会を開催しました。

今年は天候が悪く、予定日より一日遅れて開催しました。

当日は、マレット愛好家の人達が多くいますが、二十七名が参加し、和気あい合いの中、それぞれの年齢に合わせたプレーをし、親睦と交流を深めました。

この大会には、大郡、法山、米川、下村の皆さんが参加しましたが、「この機会に未組織の地区もぜひ千代高齢者クラブに参加して欲しい」との声が参加者の多くからありました。

この大会は、上位入賞も名誉ですが、高齢者にふさわしい良い参加賞もあり、評判良く楽しい半日でした。高齢者の皆様の交流は、地域にとって大切なことだと思います。また高齢者の皆さんの人口も千代地区は多く、未組織の地区も参加していただくよう千代地区の活性化のためにもよろしくお願いいたします。

成績は次のとおり

優　勝　長沼清隆さん
準優勝　牧田茂弘さん
三　位　篠田満枝さん

秋空のウォークラリー大会

晴天に恵まれた九月二十四日（土）、青少年育成委員会主催のウォークラリー大会が行われた。

今年は初めての大郡地区での大会となり、多くの参加者がスタートの千代小学校へと集まり、約六十名の人々は開始前から初コースへの期待を話していた。

六～七名ずつに組分けをした各チームは二分間隔で大郡コースへと出発した。

各所で子供達の「難しい‼」や「へーそうなんだ‼」等の楽しそうな声が響く中、大人も秋晴れの穏やかな一日を満喫していた。

参加者の篠田未琴さん（千代小五年）は、「問題は難しかったけど初めて歩いた所も有り、とても楽しかった」と嬉しそうに話していた。

尚、今回初めて大郡コースをつくるにあたって、大郡会（牧田正巳会長）の皆さんを始め、大郡の皆さんにご尽力いただいたとのこと。当日も子供達のためにと給水所を二カ所設け、声を掛けてくださった。本当にありがとうございました。

ふるさと千代会総会・まちづくり委員会研修旅行に参加して

総務社会部長　吉澤富夫

千代地区まちづくり委員会では去る十一月六日、七日にふるさと千代会総会出席と東京方面の研修旅行を行いました。

東京からは五十九名の参加があり、千代からの参加者と信州飯田ふるさと連合会を含めると総勢九十三名余の総会と懇親会になりました。

法全寺出身でふるさと大使の関口郷子さんの司会で進行されました。

四月の御柱祭に多額の協賛金を頂いた事に関して榊山野池区長からお礼の言葉が述べられました。

今回は初めての試みとしてよこね米を参加された方々にお贈りし、多くの方からお米の注文を頂きました。

くるみの会の五平餅コーナーは行列が出来るほどの大盛況でした。

前回まではふるさと千代会終了後は帰途につきましたが、今年はまちづくり委員会の研修旅行に切り替え、委員同士の親睦を深めてきました。

翌日はスカイツリーのソラマチタウン視察と、山梨のリニア実験線で目の前を時速五百kmで走行するリニアのスピードと走行音の迫力に驚き見学しました。

これからは、ふるさと千代会が都市部と地方の接点になり交流人口が増えていくことを期待したいと思います。

さらに、千代の棚田が飯田市出身の方々の田舎の原風景として認知されるように保全活動を継続し、ＰＲしていく事が大切であると感じてきました。

千代保育園・千栄分園 運動会 in千代小体育館

十月一日（土）今年は残念ながら雨天のため、十年ぶりとなる千代小学校の体育館での運動会となった。

「輝け！ぼくらのきらきらメダル」今年の運動会のテーマはリオオリンピックの開催にちなんだテーマだ。きらきらメダルを目指して元気いっぱい行いたいというテーマになっている。

体育館での開催となってしまったが、運動会は大盛り上がり。未満児さんから年長さんまで、それぞれの競技を一生懸命に、そして楽しく行われていた。年長さんの太鼓は体育館の中でよく響き、とても迫力があった。年長さんの最後の見せ所となるリレーでは、九人という少人数でもとても白熱し、最後に涙する子もいて、感動できるものとなった。

澤田園長先生は「保護者の方からは、体育館だったけど子供との距離が近く感じて良かったという声も聞かれ、悪い感想もなく良い運動会になった」と述べた。

下村秋日和

晴天の十月十日（月）体育の日に下村公会堂で朝八時から囲碁ボール大会が開催された。下村分館では実に七年ぶりとなる分館独自の事業である。柏木分館長の「区民が一堂に集まれるイベントを是非行いたい」との強い熱意で実現した。

その甲斐があって、七十名を超える区民が参加した。殆どの人が初めて体験するスポーツという事で、分館役員がルール説明から審判、ゲームの進行役を務めた。

下村公会堂の一階と二階の二会場を使って行われ、建物全体から響き渡る歓声で盛り上がりの大きさが想像できる。

参加者は口々に楽しかった、又やりたいと声に出していた。

午後は下村区恒例の秋の祭典が開かれた。午前中の賑やかさを引き継ぎ多くの参加者で祭典を盛り上げた。

地域の活力を感じた一日であった。

有害鳥獣防護柵について

農業委員　川手洋造

千代地区の有害鳥獣防護柵は現在芋平地区から山中地区に設置されています。

これにより私が住んでいる法全寺地区の中心地区からは電気牧柵の設置が無くなりました。防護柵にかかった費用は、中山間地直接支払制度交付金の三分の二（共同取り組み分）の一千八百万円と国からの補助金二千二百万円合わせて四千万円で、地権者の皆さんから防護柵設置場所の無償貸与と、防害となる木材の無償提供により設置されました。今年度行います山中から下村金野地区まで六・三キロの防護柵も同様に建設します。

今年度の防護柵が完成しますと、千代地区が十七キロ上久堅地区が十一キロになりこれにより竜東四地区が鳥獣害防護柵により囲まれます。この点からも広範囲にわたり受益を受ける地区も多く、公共性が高い物と考えられます。今後まちづくり委員会を通じて、維持管理費も市の補助が受けられるようにお願いしております。しかし来年度より始まる維持管理費は千代十七キロで六十万円掛かる見込みです。地区の皆さまにもご理解ご協力お願いします。最後に今年度の工事も近く始まり地区の皆さまにもご迷惑掛かりますが、この点に付きましてもご協力お願いします。

しゃくなげの会に寄付 ～米川ゴルフクラブ～

十一月十一日（金）第四十回記念米川ゴルフクラブコンペが飯田カントリークラブにて開催された。

米川ゴルフクラブ（川手重光会長）は、年に二回大会を開催しており、節目の大会は、叩けば叩くほど多くの金額をしゃくなげの会に寄付するチャリティ大会として行っており、今回は十八名で開催した。

メンバーの一人は「あくまで気持ち。しゃくなげの会への想いの結集。心を寄せていきたい」と話した。

寄付を受け取った吉澤理事長職務代理は「皆さんの気持ちに感謝。先輩方が頑張ってくれたおかげで、今のしゃくなげの会がある。理事一同、頑張りたい」とお礼を述べた。

地域を知って友達と遊ぼうin上久堅

十月二十九日（土）「地域を知って友達と遊ぼうin上久堅」がDブロック公民館（千代・上久堅・龍江・川路・三穂）主催で行われた。

内容は、小野子人参収穫体験、げた飛ばし、おにぎり作り、食生活改善推進協議会の方が作ってくれた地元野菜たっぷりの豚汁とおにぎりでの食事交流会。

友達が出来、また、子供達の心に自然豊かで暮らしやすいふるさと竜東の魅力が刻まれること願っている。

千代小三年　北澤苺華（まいか）

このまえのにんじんほりは、楽しかったです。

ふつうのにんじんとはちがって長いしあまくておいしかったです。もらったにんじんでとんじるを作ってみたらあじみで食べてみました。すごくおいしかったです。また、おのごにんじんを食べたいです。

げたとばしは、ぜんぜんとばなくてむずかしかったです。おのごにんじんとくらべてみるとおのごにんじんのほうがよかったけど、げたとばしもはじめてできてうれしかったです。

告知板

○一月八日（日）「成人式」
○一月九日（月）「消防出初め式」
○一月二十九日（日）「第三回囲碁ボール大会」